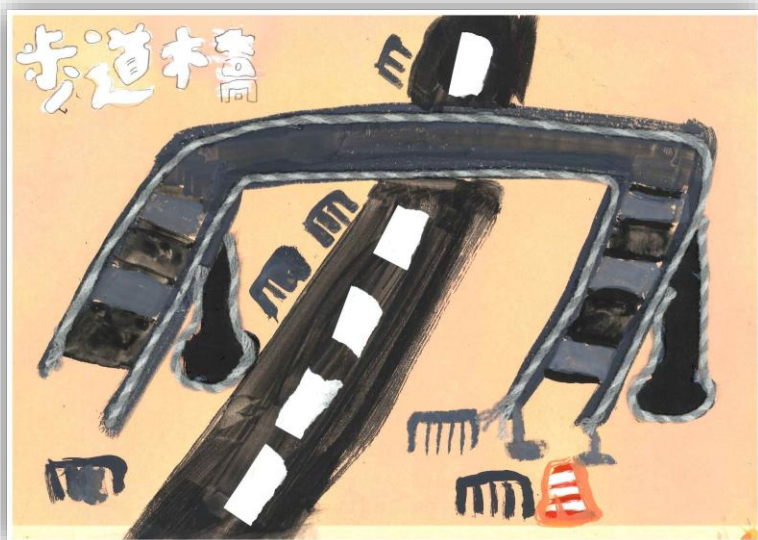


<世界子ども絵画コンテスト 京都市代表絵画>

- テーマ わたしのまちの「宝物」
- 開催目的 自分のまちの中で未来につないでいきたい「宝物」を心を込めて描き、その魅力を世界に向けて表現する。「宝物」は、歴史的な建物など形のあるもののほか、地域の風景や地元の伝統行事など、形のないものも含まれます。
- 募集期間 令和8年7月15日（水曜日）から8月31日（月曜日）まで
- 対象 小学生（京都市内に在住又は市内の学校に在籍する6歳～12歳）

※ 全ての作品を、「世界子ども絵画展 in Kyoto」及び「第20回世界歴史都市会議」の開催会場（姫路市）で展示します。



「命を守る歩道橋」
今村 日和（小学4年生）

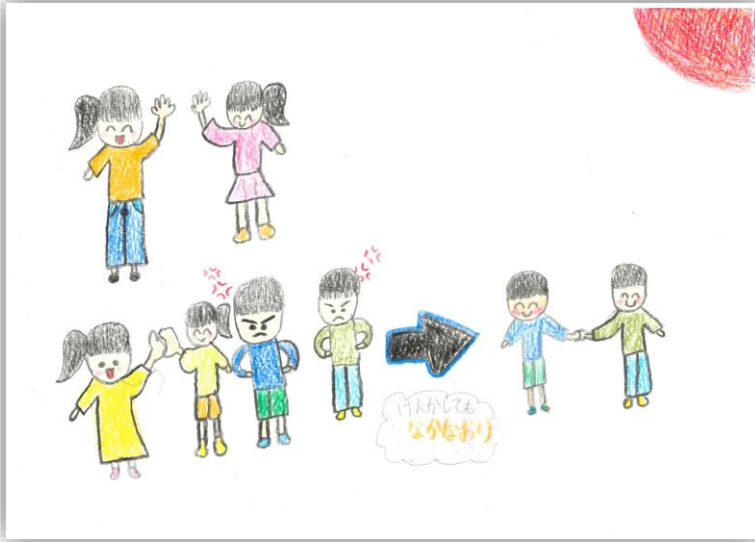
もし歩道橋がなかったら、
じこになって、全員けが
をしちゃうからです。



「淀水路 河津桜」
王 馨晨（小学4年生）

毎年関西地区でさくのが
いちばんはやく、200～
300株は咲き、とてもきれいで、ずっとみらいま
で、のこしておきたいか
らです。

「けんかしてもなかなかおり
^▽^えがおが一番」
金森 海美（小学4年生）



私は、けんかをしててもなかなかおりをしてまた、えがおになることがいいと思ったので、のうそのいい所はこのことをかきました。けんかしてもなかなかおり。あたりまえだけどあったほうがいいよね^▽^というきもちをこめてかきました。とくにえがおがいいです^▽^



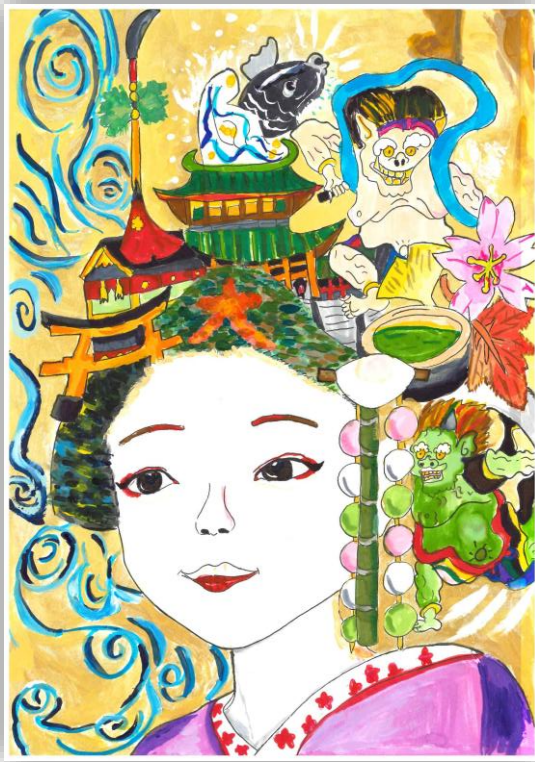
「京都競馬場」
草彅 虎翔（小学4年生）

ぼくは、馬が好きで、家の近くに、京都競馬場があるので競馬場に行くと、カッコいい馬がいっぱいたいたので馬の絵を書きました。



「けいばじょうの花火」
桜井 陽葵（小学2年生）

地域には、淀競馬場があって、大きな花火大会が毎年あります。たくさんの人が淀に集まって、にぎやかになります。家族といっしょにきれいな花火を見るのがとても好きです。



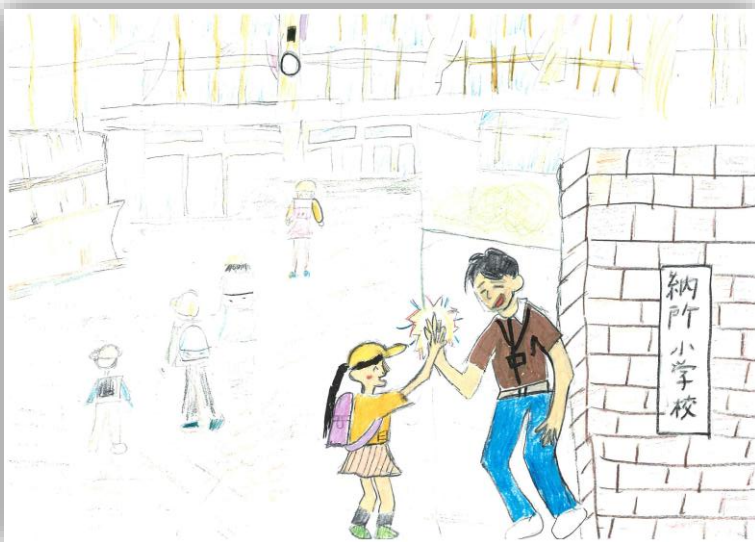
「京をかざる」
櫻澤 采穂（小学3年生）

京都のまちには、すてきな宝物がたくさんあります。歴史ある建物、きれいな風景、自然の神様、お祭りにおいしいお茶やだんご。この絵は、そんな京都の宝物を舞妓さんのかんざしにしました。世界中の人に、京都のすばらしさをいっぱい知ってほしいです。



「よどのかわづくら」
塩谷 仁菜（小学4年生）

かわづくらを見に行ってきたのでかきました。



「登校のようす」
外川 ちなみ（小学4年生）

朝の登校で、校長先生がタッチをしてくれて元気をもらえるから。



「みんな大好き!納所小学校!!」
西 永瑠翔（小学4年生）

納所の中でゆいいつのみんな元気で笑顔の小学校で、たくさんの子どもたちが元気よく通っていて最高の学校だからです。



「元気にあそぶわたしの学校」
長谷 菜月（小学2年生）

納所小学校は、外あそびが大好きな人が多いです。わたしも、友だちとたくさんあそべる学校が大好きです。



「ザリガニのいるところ」
松田 桔弥太（小学2年生）

ザリガニがかわいくて、元気だったから



「京都市動物園」
丸野 花歩（小学2年生）

京都市動物園にはたくさんの動物がいます。どの動物もとてもかわいいので、たくさんの人に見に来てほしいからです。



「水車」
宮原 絆愛（小学5年生）

むかしからある水車をかきたかったから。